

# 広島県経済の動向

令和4年1月15日  
商工労働局

# 目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注) 「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

# I 経済動向の概要

## 1 国内経済の動向

### (1) 概要

指 標	R3年		
	10月	11月	12月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられる	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる
輸出	増勢が鈍化している	おおむね横ばいとなっている	
生産	このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	
設備投資	持ち直している		持ち直しに足踏みがみられる
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さもみられる	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる
個人消費	弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直している
住宅建設	このところ持ち直しの動きがみられる		おおむね横ばいとなっている
企業収益	感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している	

### (2) 先行き

先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和3年12月21日公表)】

## 2 広島県経済の動向

### (1) 概要

指 標	R3年		
	10月	11月	12月
基調判断	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きがみられている	
輸出	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しのペースが一段と鈍化している	自動車を中心に下押し圧力が続いており、持ち直しのペースが一段と鈍化している	持ち直しの動きがみられている
生産	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きがみられている
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	弱い動きがみられている		
個人消費	弱めの動きとなっている	持ち直しの動きがみられている	
住宅投資	持ち直しつつある	持ち直している	

### (2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年1月7日公表）】

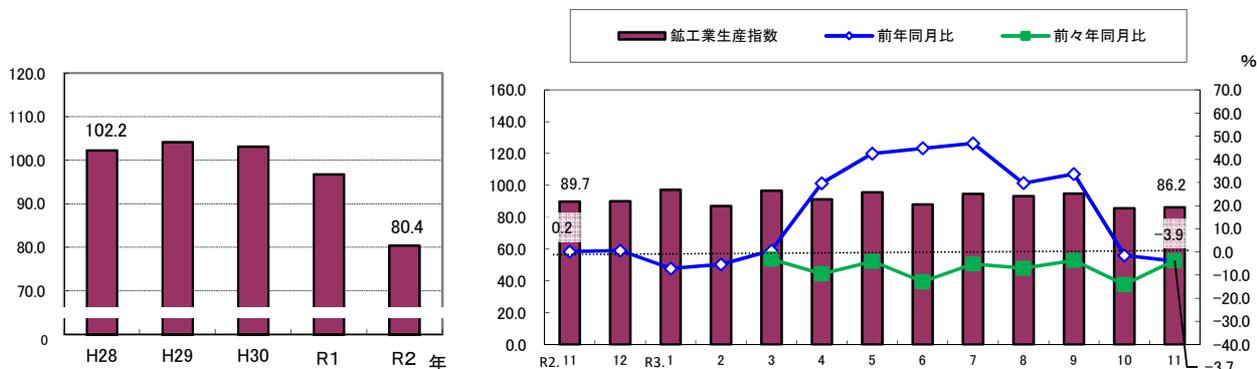
## II 県内主要製造業の生産動向

### 1 鉄鋼(令和3年11月)

11月の鉱工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は86.2で, 前年同月比で3.9%減少, 前々年同月比3.7%減少となっている。

鉱工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

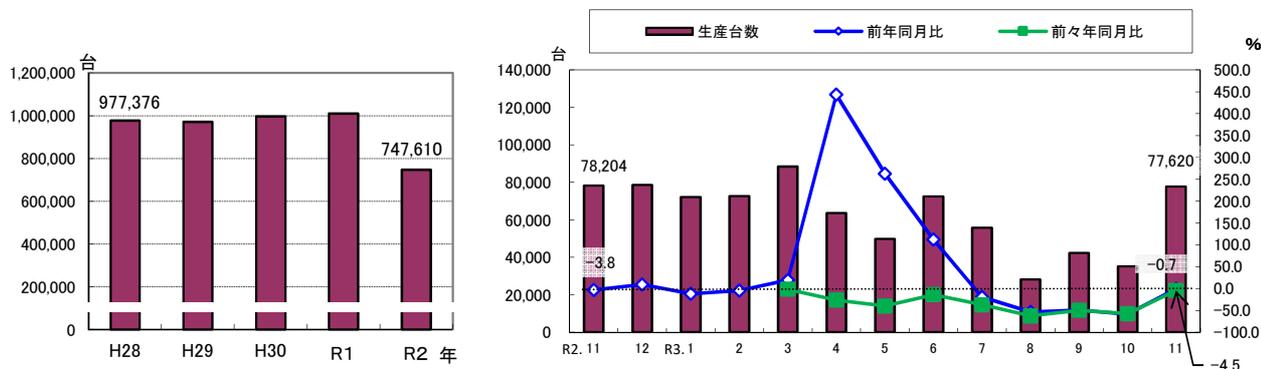


### 2 自動車(令和3年11月)

11月の国内生産台数は77,620台で, 前年同月比で0.7%減少, 前々年同月比4.5%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

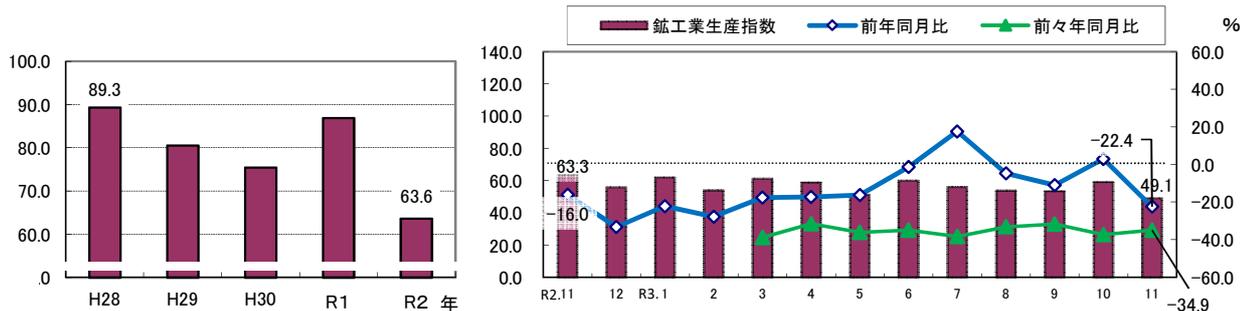


### 3 造船(令和3年11月)

11月の鉱工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は49.1で, 前年同月比で22.4%減少, 前々年同月比34.9%減少となっている。

鉱工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

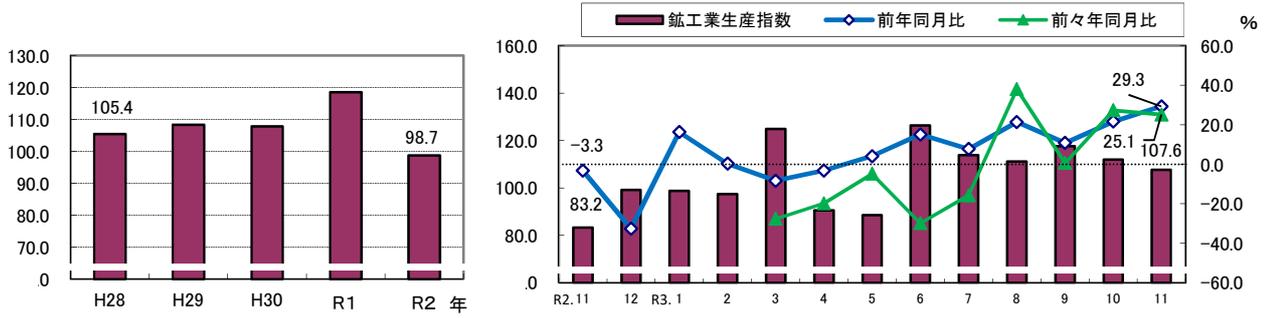


#### 4 一般機械(令和3年11月)

11月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は107.6で, 前年同月比で29.3%増加, 前々年同月比25.1%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

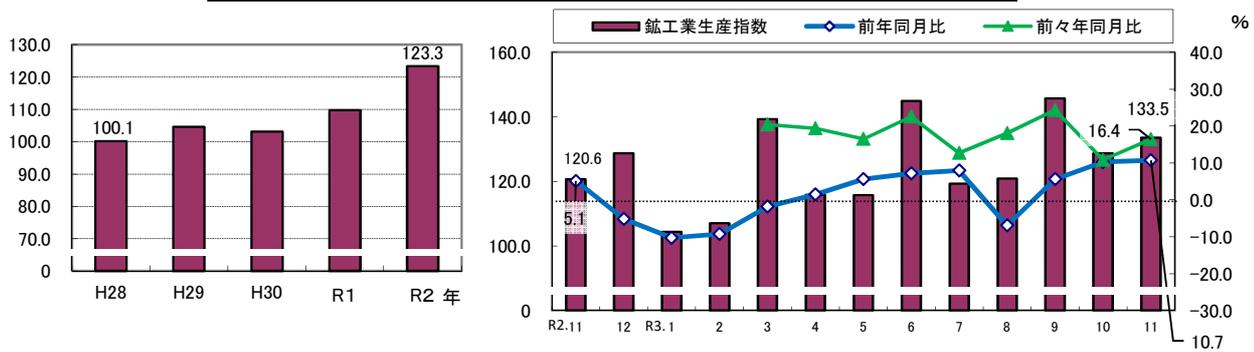


#### 5 電気機械(令和3年11月)

11月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は133.5で, 前年同月比で10.7%増加, 前々年同月比16.4%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



### Ⅲ 中小企業の動向(令和3年11月)

【広島県中小企業団体中央会（令和3年12月15日時点）】

#### 1 概況

全体的には、新型コロナウイルス感染者数が低く推移するも新変異株が出現するなど、不安定な状態であり、景気はやや悪いまま横ばい傾向が続いている。原油価格の高騰とともに原材料の不足や価格上昇によって、収益状況の悪化が様々な業種で見られる。また、人材不足や人員配置に苦しむ業種もみられる。依然として、先行き不透明感が強く、引き続き今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比14.4%減少と5ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同17.4%減少と6ヶ月連続の前年割れとなり、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比18.5%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比10.4%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比9.7%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

#### 2 景況感・景況感の変化

業種	10月の景況感	11月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	悪い
木材	やや好況	やや好況
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	悪い	やや好況
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	10月の景況感	11月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや好況	普通
自動車部品	やや悪い	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	普通	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位・業種)

景況感	10月	11月	増減
好況	0	0	0
やや好況	2	2	0
普通	3	4	1
やや悪い	11	10	▲1
悪い	4	4	0

### 3 前月(10月)から変化のあった主な業種

業種	10月の景況感	11月の景況感	変化の理由・状況
繊維・衣服	やや悪い	悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期は状況が良かったが、後期に入るとつれて景況感が悪くなった。新型コロナウイルスは、収束の気配がみえたが、ここにきて新変異株が出現したので、経済活動が影響を受けるだろう。助成金が今後、縮小するのであれば、より厳しくなるだろう。</li> <li>・今年は、例年と比べ、寒いことが予想されるので、冬物の売れ行きに期待していたが、消費は伸びていないようだ。年末・年始の商戦がどうなるか見通しが立っていない状況である。</li> </ul> <p>【(一財)広島県織物工業会】</p>
卸売	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費マインド改善の期待が高まり、食品、繊維部門で一部売上回復は見られるものの、雑貨・資材・食品・繊維の各部門とも、逸失利益挽回の水準には至っていない。足許の原油など原材料の価格高騰の影響を受けて、荷動きや具体的な設備投資(更新)への取組は本格化していない。</li> </ul> <p>【協同組合広島総合卸センター】</p>
自動車部品	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。コロナの影響による半導体の供給不振が解消され、11月からはフル操業を再開。今後は、まだ単発的な落ち込みリスクはあるが、ほぼコロナ前の水準に回復。さらには、来年初めから計画されている新車の生産準備を、人的資源も含めて行っている。</li> </ul> <p>【東友会協同組合】</p>
プラスチック製品	悪い	やや好況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車は以前の減産の状況から11月は急な増産に入り、稼働率が上昇した。しかし、人手不足で計画的な増産体制に入れず、残業や休日出勤の対応となっている。</li> <li>・自動車関連の生産数変動が影響して、今後の見通しが不透明なために人員の配置がうまくいかない状況である。</li> <li>・原材料の値上げにより、採算性も悪くなっている。</li> </ul> <p>【広島県プラスチック工業会】</p>

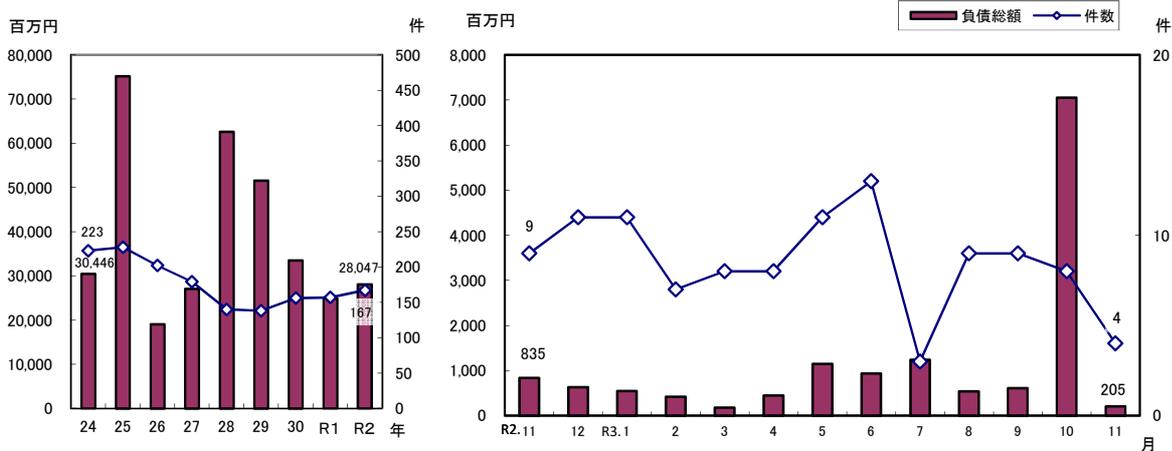
## IV 企業倒産状況(令和3年11月)

### 1 概況

- ・負債総額1,000万円以上倒産は、件数が4件、総額2億500万円であった。
- ・前月比で件数は4件減少し、負債総額は68億4,600万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は5件減少し、負債総額は6億3,000万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）は発生はしなかった。

区 分	令和3年9月	令和3年10月	令和3年11月
件 数 (前年同月比)	9件 (50.0%増)	8件 (33.3%減)	4件 (55.55%減)
負債総額 (前年同月比)	607百万円 (75.2%減)	7,051百万円 (88.47%増)	205百万円 (75.44%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



### 2 業種別

件数は、サービス業が2件、製造業、卸・小売・飲食業が各1件となった。負債総額では、サービス業、製造業、卸・小売・飲食業の順となった。

### 3 原因別

原因別では、販売不振が3件、他社倒産余波が1件であった。

### 4 今後の見通し

令和3年11月度の倒産は前年同月比で件数は5件減、負債総額は6億3,000万円減と共に前年同月を下回った。令和3年1月から11月の累計倒産件数は91件と前年(令和2年1月～11月累計156件)から65件減(41.7%減)と大きく下回っており、新型コロナウイルス感染拡大以降、各種コロナ支援策が倒産抑制効果を発揮している。日本国内の新型コロナウイルスワクチン接種は進み2回目の接種率は12月3日時点で77%となった。

また、新型コロナウイルスの新規感染者数も10月以降は全国的に落ち着いた状態が続いており、感染拡大によって制限されていた経済活動の活発化が期待される。しかし、広島県内企業へ「忘年会」又は「新年会」を開催するかのアンケート【10月1日～11日にインターネットによるアンケート調査、東京商工リサーチ調べ】において、「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」に関係なく開催しないが68.4%と約7割の企業で忘年会を実施しないとの回答であった。

さらに、新たに発生した変異株の感染者が世界的に広がっており、更なる悪化が懸念され、繁忙期となる需要がコロナ前に回復することは難しい状態にある。大きな影響を受けた飲食業界だけでなく、コロナ禍で一変した社会環境がコロナ前に戻ることはなく、様々な業種において「アフターコロナ」、「Withコロナ」への対応が必要不可欠となっている。

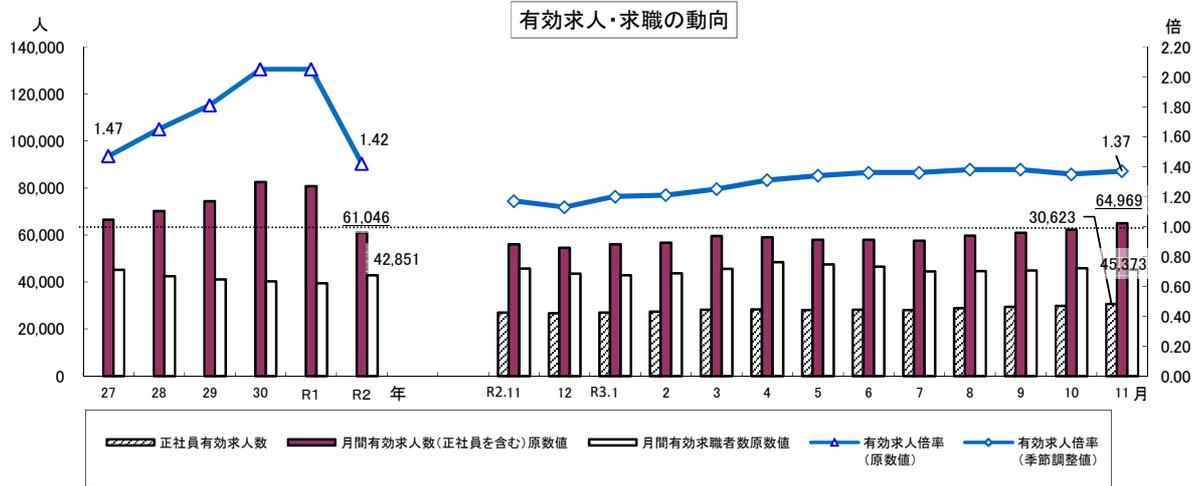
このような中、原油価格の高騰、原材料・資材価格が上昇傾向にあり、緊急事態宣言等の全面解除で再び人手不足が深刻化する可能性も出てきた。しかし、中小・零細企業が原材料価格や人件費上昇分を価格転嫁することは容易でない。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた先の中には過剰債務に陥っている企業もある。過剰債務を抱えた企業では事業の改善が必要となっているが、事業の将来性や債務解消の目途が立たないと抜本的な対応が取りにくい。業績回復が見込めない先では支援効果も薄れており、今後も息切れする企業の発生によって倒産件数が増加に転じる可能性があり、注視が欠かせない。

## V 最近の雇用失業情勢(令和3年11月)

### 1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年9月	令和3年10月	令和3年11月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.38倍 (±0.00ポイント)	1.35倍 (▲0.03ポイント)	1.37倍 (+0.02ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.09倍 (+0.15ポイント)	1.09倍 (+0.14ポイント)	1.13倍 (+0.15ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

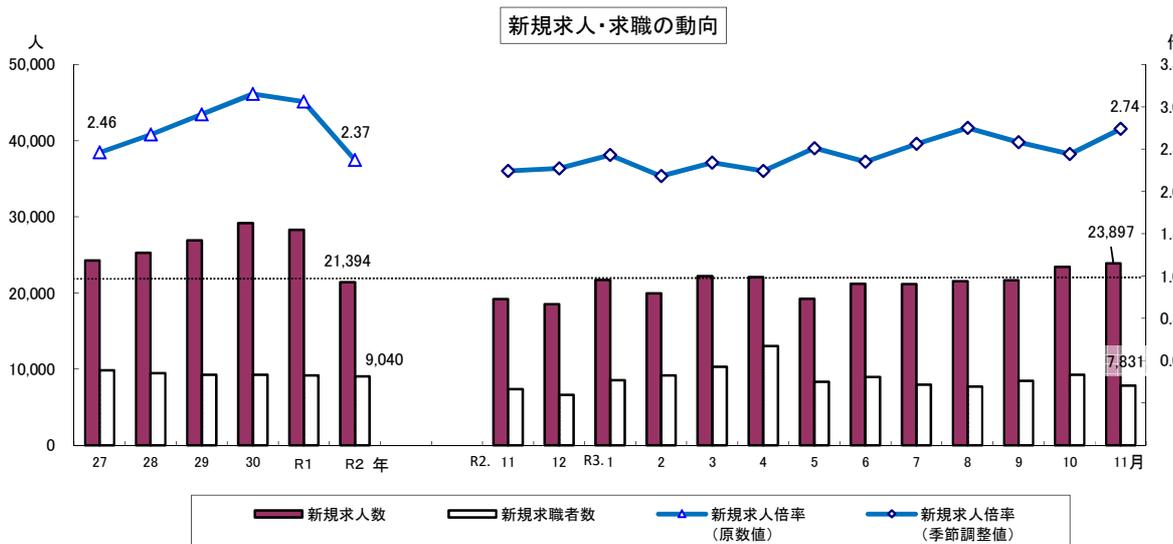
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和2年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

### 2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年9月	令和3年10月	令和3年11月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.58倍 (▲0.17ポイント)	2.44倍 (▲0.14ポイント)	2.74倍 (+0.30ポイント)

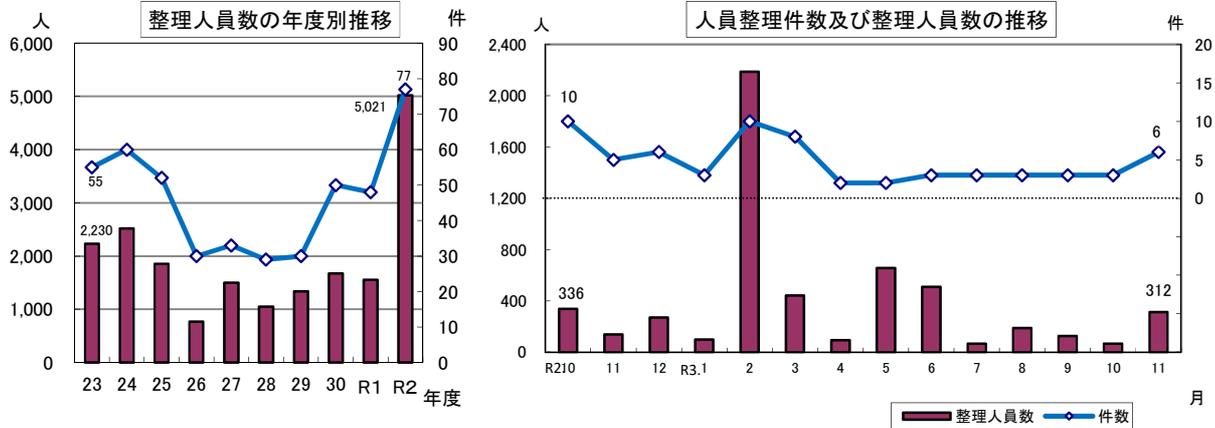
【広島労働局】



(注) 令和2年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和3年1月分公表時改訂)

### 3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区分	令和3年9月	令和3年10月	令和3年11月
件数 (前年同月比)	3件 (+ 1件)	3件 (▲7件)	6件 (+ 1件)
整理人員 (前年同月比)	125人 (+ 38人)	66人 (▲ 270人)	312人 (+ 174人)



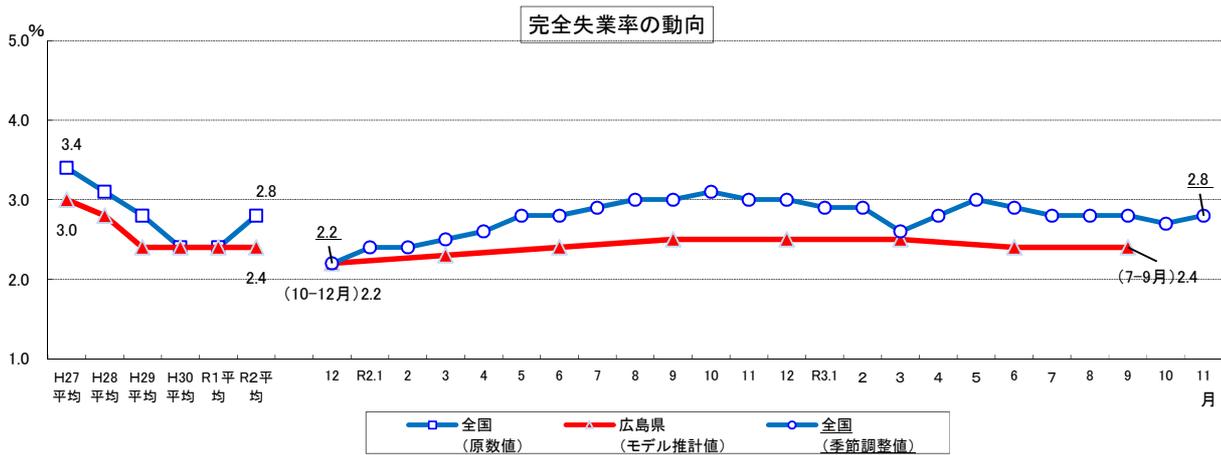
### 4 完全失業率の状況

区分	令和3年9月	令和3年10月	令和3年11月
全国完全失業者数 (前年同月比)	192万人 (▲18万人)	183万人 (▲32万人)	182万人 (▲13万人)
全国完全失業率<季節調整値> (前月比)	2.8% (±0.0ポイント)	2.7% (▲0.1ポイント)	2.8% (+0.1ポイント)

区分	令和3年		
	1~3月平均	4~6月平均	7~9月平均
広島県完全失業率 <モデル推計値> (前年同期比)	2.5% (+0.2ポイント)	2.4% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。